

1:急性骨髄性白血病(AML)【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 工藤 寿子	藤田保健衛生大学病院	小児科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
石田 宏之	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
岡本 康裕	鹿児島大学病院	小児診療センター 小児科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター 血液腫瘍科
清水 崇史	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
多賀 崇	滋賀医科大学附属病院	小児科
田淵 健	がん・感染症センター 都立駒込病院	小児科
富澤 大輔	国立成育医療研究センター	小児がんセンター 血液腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液腫瘍内科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
宮村 能子	大阪大学医学部附属病院	小児科
吉原 宏樹	St. Jude Children's Research Hospital	Department of Pathology
橋井 佳子	大阪大学大学院医学系研究科	小児科学

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

1-1	「小児 AML における第 2 寛解期再移植例の成績と再移植の意義」 PI: 多賀崇
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 投稿中
1-2	「非寛解期小児 AML における移植成績」 PI: 岡本康裕
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:
1-3	「ダウン症候群に合併した急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI: 村松秀城
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
1-4	「小児 AML に対する自家移植の解析」 PI: 坂口大俊
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績:
1-5	「小児・思春期 AML 第一, 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響」 PI: 石田宏之
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)
	論文業績: Ishida H, Adachi S, Hasegawa D, Okamoto Y, Goto H, Inagaki J, Inoue M, Koh K, Yabe H, Kawa K, Kato K, Atsuta Y, Kudo K. Comparison of a fludarabine and melphalan combinationbased reduced toxicity conditioning with myeloablative conditioning by radiation and/or busulfan in acute myeloid leukemia in Japanese children and adolescents. <i>Pediatr Blood Cancer</i> . (in press).
1-6	「初回寛解期小児急性骨髄性白血病に対する自家骨髄移植を含めた造血幹細胞移植の意義を検証する臨床

	決断分析」 PI:長谷川大一郎
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	論文業績:
1-7	「t(8;21)および inv(16)異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI:村松秀城
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	論文業績:
1-8	「11q23 異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績」 PI:宮村能子
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	論文業績:
1-9	「第1・第2寛解期の小児期・思春期 AML に対する全身照射レジメンと静脈投与ブスルファンレジメンとの比較」 PI:石田宏之
学会発表:	論文業績:

3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014 年 1 月 12 日 (日)	国立がん研究センター 中央病院	進捗状況報告と新規研究課題について検討 成人 AML WG より近藤忠一先生 (京大病院血液腫瘍内科) にも参加していただき、AYA 世代 (15-30 歳)、初回移植例 (1CR+2CR) の解析、等について話しあった。
2014 年 3 月 8 日 (土)	沖縄コンベンションセンター	進捗状況報告と新規研究課題について検討
2014 年 6 月 21 日 (土)	名古屋医療センター	進捗状況報告と新規研究課題について検討 JPLSG 再発 AMLWG メンバーも今回からオブザーバー参加
2014 年 11 月 29 日 (土)	リットシテイ岡山 6F 中外製薬会議室	進捗状況報告と新規研究課題について検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで)

(578) 回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

- 1) 既に学会発表の終了した研究課題については、各担当者が中心となって共著者とともに議論を深め、論文化を目指す。
- 2) 成人 AML WG との共同研究として AYA 世代の初回移植例や Bu レジメン vs TBI レジメンの治療成績の比較の解析等を進める。
- 3) 日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) AML RTST13、再発 AML 委員会との共同研究を検討する。
- 4) 小児 AML 治療における移植の位置づけや晩期障害も考慮したがん経験者の QOL にも目を向け、よりよい移植医療の構築に貢献したいと考えています。